

## グリーン物流PS優良事業者国交大臣表彰

# 味の素など10社が受賞

## 流通過程ルール標準化

国土交通、経済産業の両省は8日、2016年度グリーン物流パートナーシップ優良事業者表彰の受賞者を決定した、と発表した。

共同で流通過程でのルール標準化など食品物流のプラットフォーム構築に取り組んだ味の素など10社が、国交大臣表彰を受賞した。

受賞したのは、味の素、カゴメ、日清オイリオグループ、日清フーズ、ハウス食品グループ、Mizkan（長谷川研治社長、愛知県半田市）の食品メーカー6社に、味の素物流（田中宏幸社長、東京都中央区）、全国通運（杉野彰社長、同）、日本貨物鉄道（JR貨物）、

日本通運を加えた計10社。

「持続可能な食品物流の実現を目指した食品企業物流プラットフォームの構築と運営（F-LINEプロジェクト）」として、メーカー6社共同によるモデルソフト、共同輸配送といったハード面と、製造、配送、販売の流通過程での食品業界の仕組みやルールの標準化などのソフト面での改善に取り組み、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）排出量削減と省労働力化を実現した。

物流審議官表彰は、長距離高速バスを利用した貨客混載輸送に取り組み、複数の商品を必要な分だけ、定期的に首都圏の店舗へ安価

に納品できる仕組みを構築した、ジェイアール東日本物流（市川東太郎社長、東京都墨田区）、ジェイアールバス東北（吉田豊社長、仙台市青葉区）、東北鉄道運輸（市川隆社長、太白区）の3者が選ばれた。

特別賞は、31日鉄道コンテナを活用して配送とオペレーションの効率化を実現した、神戸モーターシフト推進協議会、ネスレ日本（高岡浩三社長兼CEO）最高経営責任者、神戸市中央区）、全国通運、JR貨物、日本アイ・ビー・エム、ジエナ（手塚康夫社長、東京都中央区）の6者と、泡盛の沖縄県外への出荷の共同化した。

取り組んだダイワコーポレーション（曾根和光社長、品川区）と沖縄県酒造組合の2者がそれぞれ受賞した。

経産大臣賞は、ドライバーの業務効率改善とCO<sub>2</sub>排出量低減を両立させた、イオングローバルSCM（山口緑社長、千葉市中央区）、花王、向島運送（佐藤惇社長、墨田区）、福山通運の4者が獲得した。商務流通保安審議官表彰は、荷主と物流事業者の共通KPI（重要業績評価指標）により、業務改善モデルを構築した、パスコ、TOTO、中越運送（小林和男社長、新潟市中央区）の3者、特別賞には回収機械交換システムを確立し、使用済み商品の輸送効率改善を果たしたビジネス機械・情報システム産業協会、日通、リコージステイクス（若松典久社長、東京都品川区）の3者がそれぞれ受賞した。